

設計図書等に対する質問及び回答

工事番号

工 事 名 啓成小学校校舎棟改築建築主体工事

番号	質問内容	頁	回 答
1	屋根瓦葺き下地にパーライトモルタルt40とありますが、釘打専用特殊繊維入りパーライトモルタル（東邦レオ(株)スカイモルα同等）と考えてよろしいでしょうか。	A-16・22 AA-26	釘引抜強度が確保できる下地材を使用することとします。 施工計画書及び使用材料報告書にて仕様を確認し、施工するものとします。
2	濾過室、プール器具庫、ポンプ室、外部倉庫、物入れ床仕上げの防塵塗装の仕様のご指示をお願いいたします。	A-17	A-08 19.8に記載のと通りの仕様とします。
3	硬質ウレタン断熱材のt30ですが、スラブ裏（外壁から吹き返し部）もt30としてよろしいでしょうか。	A-08	硬質ウレタン断熱材t30は屋上防水外断熱に使用するものです。 スラブ裏の吹き返し部分は現場発泡ウレタンt30とします。（AA-25～28参照）
4	壁下地「r R」のGL工法とLGSの間は壁パッキン工法又は(株)桐井カビノン工法としてもよろしいでしょうか。	AA-31	具体的な工法・仕様については、施工計画書及び使用材料報告書にて確認し、施工するものとします。
5	8通りウレタン断熱材吹付は柱型までとしてよろしいでしょうか。	AA-32	現場発泡ウレタンは外壁面とし柱型は施工不要です。
6	上記でウレタン断熱材を壁面まで吹き返す場合吹き返しから先は壁パッキン工法又は(株)桐井カビノン工法としてよろしいでしょうか。	AA-32	現場発泡ウレタンは外壁面とし柱型及び内壁は施工不要です。
7	天井仕上げ①の箇所に遮熱シート張りとなっています、遮熱シートはLGS下地と岩綿吸音板の捨て張りの間にビス留めとしてよろしいでしょうか。	AA-63	天井LGS野縁材と捨て張りPBとの間に施工するものとします。

番号	質問内容	頁	回答
8	上記の場合岩綿吸音板の捨て張りはP B9.5tのままよろしいでしょうか。	AA-63	図面通りとします。
9	遮熱シートの天井下地に対しての張り方向は、天井下地野縁材に対して直角でよろしいでしょうか、又は平行とし遮熱シートジョイント部に野縁（W材）を追加で配置でしょうか。	AA-63	天井LGS野縁材に対し直交方向に張り付けるものとします。シート間は隙間ができないよう施工して下さい。
10	ピット止水板の仕様のご指示をお願いします。	AA-26	塩ビ製フラット形とし、サイズは内訳書P25に記載のとおりとします。
11	AW-22の合わせガラスはJIS等級の防音性能が必要でしょうか、その場合の等級のご指示をお願いいたします。	AA-68	JIS等級T-3とします。
12	SP-16の合わせガラスはJIS等級の防音性能が必要でしょうか、その場合の等級のご指示をお願いいたします。	AA-70	JIS等級T-3とします。
13	WW-2の合わせガラスはJIS等級の防音性能が必要でしょうか、その場合の等級のご指示をお願いいたします。	AA-71	JIS等級T-3とします。
14	施工条件明示事項3-2に家屋調査についての記載があります、家屋調査実施件数は何件程度計上しておけばよろしいでしょうか。	特記事項 施工条件 明示事項	内訳書P104 現場管理費（積上）に記載のとおりとします。
15	構造スリットは、スラブ面（下端）と梁（上場）の取合い部分は無しと考えてよろしいでしょうか。	S-16・ 20・21・ 22・27	構造スリットは構造図に図示した箇所の壁と柱の取合部に設置します。梁及びスラブとの取合部（水平方向）は不要です。

番号	質問内容	頁	回答
16	<p>木工事カーテンボックス材料がCLTパネルとなっていますが、t24なのでJパネルと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>内訳29ページ</p>	<p>お見込みのとおりJパネル程度を想定しています。</p>
17	<p>金属工事薄型軽量鉄骨壁下地ウレタン接着工法は壁パッキン工法又は(株)桐井カビノン工法としてもよろしいでしょうか。</p>	<p>内訳35ページ</p>	<p>具体的な工法・仕様については、施工計画書及び使用材料報告書にて確認し、施工するものとします。</p>